

PCA 社会福祉法人会計 V5 期末更新（再更新）方法

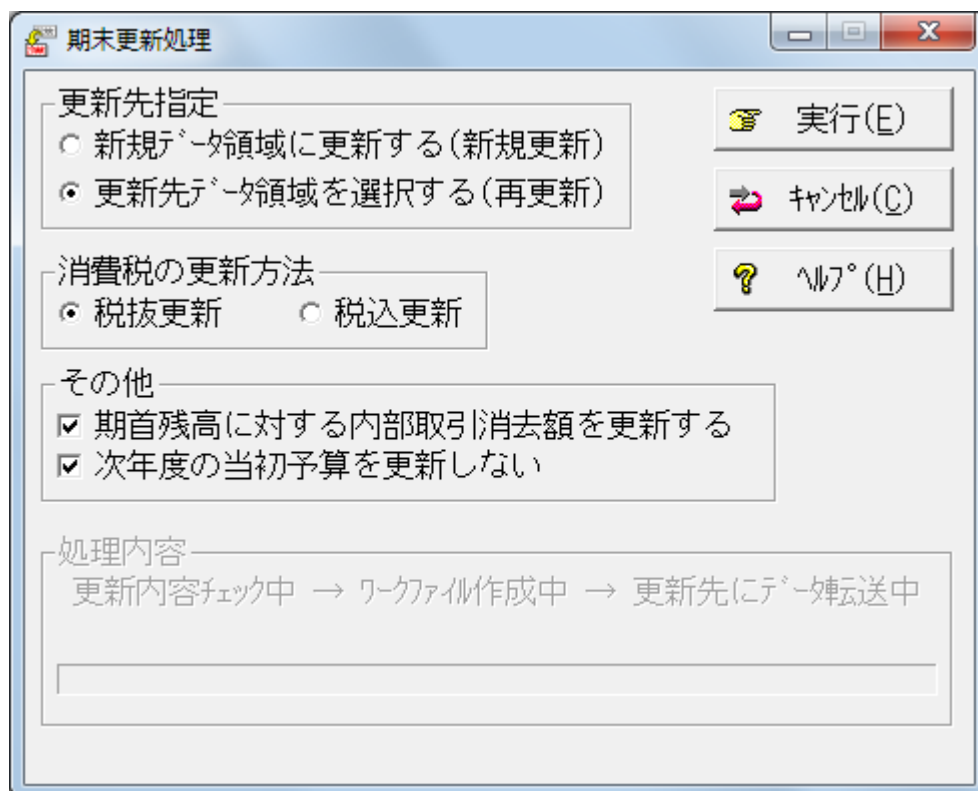
（画面例はすべて『PCA 社会福祉法人会計 V5 EasyNetwork』を使用しています）

【期末更新（再更新）概要】

既に『期末更新処理』を実行して新年度領域を作成されている状態で、前年度データの追加・修正・削除を行った場合や前年度決算が確定した際に行う処理となっております。

【期末更新操作方法】

『ファイル』 - 『データ領域の選択』 から前年度領域（決算期間データ）を選び
『ファイル』 - 『期末更新』 を選択します



【更新先指定】

更新先データ領域を選択する(再更新)を選択します。

【消費税の更新方法】

税抜更新・・・決算において、仮受消費税と仮払消費税の相殺仕訳を起こしている場合に選択

税込更新・・・決算において、消費税の相殺仕訳を行っていない場合はこちらを選択

その他】

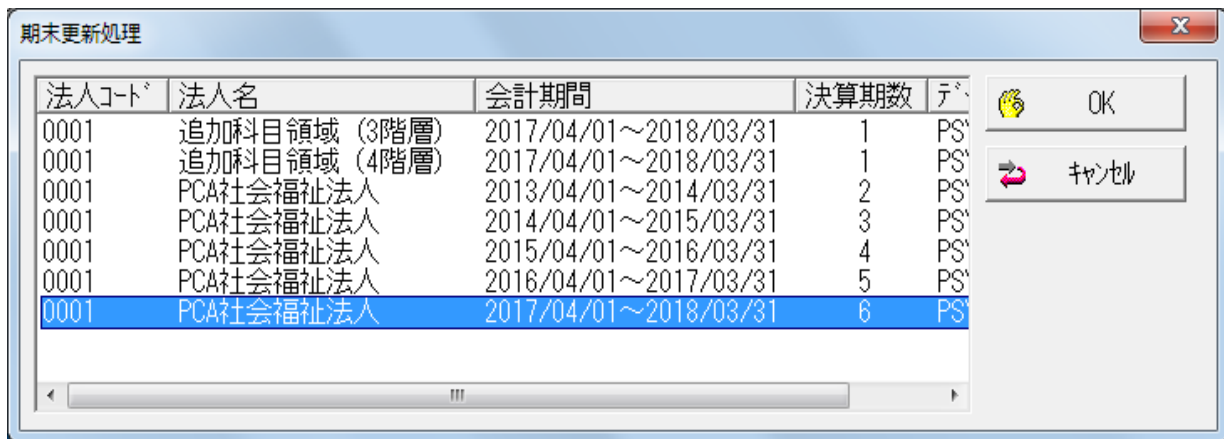
～期首残高に対する内部取引消去額を更新するに～

・内部取引消去機能を使用されており、今年度の内部取引対象の勘定科目毎に合計金額を集計し新年度領域の内部取引消去調整入力の期首残高に反映させる場合にチェックを入れます

～次年度の当初予算を更新しない～

・[次年度の当初予算を更新しない]にチェックを入れますと、決算期間領域の[次年度予算]で入力しましたデータが新年度領域の[当初予算]に反映されます。

新年度領域にて当初予算の追加・修正等をおこなっている場合にはチェックを入れずに実行してください。



実行を選択しますと上画面が開きますので、新年度を選択して『OK』ボタンを押します。



上画面では、更新元・更新先領域に間違いがないか確認頂き、間違いがなければ『OK』ボタンで再更新が始まります。

期末更新処理

更新先指定

- 新規データ領域に更新する(新規更新)
- 更新先データ領域を選択する(再更新)

消費税の更新方法

- 税抜更新
- 税込更新

その他

- 期首残高に対する内部取引消去額を更新する
- 次年度の当初予算を更新しない

処理内容

更新内容チェック中 → ワークファイル作成中 → 更新先にデータ転送中
ただ今、期首残高を転送中(転送済: 41件)

実行(E)
キャンセル(C)
ヘルプ(H)

期末更新処理

期末更新処理が完了しました。

更新先領域 : PSYA50002
法人コード : 0001
法人名 : PCA社会福祉法人
会計期間 : 29年 4月 1日 ~ 30年 3月31日

終了

再更新が始まりますと上画面の赤枠内が動きます。最後まで行きますと「期末更新処理が完了しました」と表示されますので『終了』ボタンを押して再更新が終了となります

